

緑の風 FAX版



NO. 78 2021年12月6日 JR東労組

JR東労組ホームページ

12月4日 全地本代表者会議



**定昇4・ベア・総合労働条件改善
を堂々と求めることを意思統一！**

12月4日、浦和コルソホールにて「全地本代表者会議」を開催しました。一年ぶりに各地本およびバス本部代表者が一堂に会し、年末手当総括と今後のたたかいを議論しました。

会議では佐藤委員長の主催者挨拶に続き、JR総連山口委員長から衆院選とJR東海労の出向命令解除のたたかいについての講演、そして組織課題・業務課題の提起を行いました。

討論では年末手当の奮闘と悔しさ、職場の現実が語られました。加藤書記長のまとめでそれらの課題を「22春闘」と「総合労働条件改善」で乗り越えることを意思統一しました。

議論のポイント

◆**本音を言えない「社友会」と決別し、JR東労組の仲間を増やそう！**
年末手当交渉では、「組合員の声」を結集し、掲示板を活用して職場と交渉団が一体となってたたかいました。しかし、「苦しい生活実感」と「過去最高の働き度」を訴えたにも関わらず「過去最低」の回答を打ち破れなかったのは、社員の多くが所属する社友会が「金額は妥当」「ありがたい」と会社回答を擁護・称賛し、不満の声を封殺しているためと考えられます。打ち破るには社友会からの組織拡大が必須です！

◆**JR東日本の経営姿勢に対する価値観を出し合おう！**
JR東労組の加入を希望する仲間に「本当に加入するんですか」と聞き妨害する動きがあります。一方で退避遅延をはじめ、あわや死亡事故という事象が相次いでいます。会社と団体交渉できるのは労働組合だけです。安心して働ける職場づくりと、「責任追及から原因究明へ」の視点で安全を創るため、JR東日本の経営姿勢に対し、感じていることや価値観を出し合ひましょう！

**要求の実現と組織の拡大は両輪！
危機感を出発点に、22春闘を堂々とたたかおう！**